



3



4



2



1

命 財産 守れ 守れ

22年度町総合防災訓練



5



6



7



8



9

1_ 校舎からの避難訓練。予想以上の煙から急いで逃げる児童ら 2_ 地域住民らが参加してのバケツリレー。訓練をしながら改良点を見つけるなど、本番さながらの真剣さで臨んでいた 3_ 長瀬川河川敷では消防団員が土のう積み訓練 4_ レスキュー隊員が乗用車からケガ人を救助する 5_ 一斉放水訓練に挑む緑小学校の児童ら 6_ 救急車が参加した重傷者移送訓練 7_ 婦人消防連絡協議会による給水訓練 8_ 警察署員らが倒木の除去訓練と車両除去訓練に挑んだ 9_ 炊き出し訓練では梅がゆなどのごはん類、スープ、クッキーなどが配布された

○机の下で地震がおさまるのを待ち、校庭に避難する避難訓練(緑小学校児童)
○バケツリレーと放水による初期消火訓練
(地域住民・消防団・婦人消防隊)
○倒木で移動できなくなった車を除去する交通障害車両除去訓練(警察署)
○事故で車内に閉じ込められた人を救出し、救急車で移送する救助・救出訓練と

【町役場】
○災害対策本部設置訓練
○防災無線で地震の発生を町民に知らせる広報訓練(町職員)

【緑小学校】

○机の下で地震がおさまるのを待ち、校庭に避難する避難訓練(緑小学校児童)

○バケツリレーと放水による初期消火訓練

【長瀬川河川敷】
○土のうを積み、河川の氾濫に備える水防訓練(消防団・土木事務所)
○県消防防災ヘリが長瀬川の中州に取り残された要救助者の救助・救出訓練(県消防防災航空センター・消防署)

○災害対策本部設置訓練
○防災無線で地震の発生を町民に知らせる広報訓練(町職員)

そのほか、各行政区でも避難訓練などが実施され、参加者は万一の災害に備えて、真剣な表情で訓練に取り組みました。

今回の想定は地震、火災と水害でしたが、磐梯山のふもとで暮らすわたしたちは、噴火の可能性も忘れてはいけません。

—災害は忘れたころにやってくる—
わたしたちに必要なのは、いつ大災害が起こっても不思議ではないことを忘れず、訓練のとおり自分たちの身を守るように備える心構えです。